

会場に充滿していたのは、使用済み紙おむつ処理問題は待たなし、という危機意識だった。冒頭、王子ネピア社長の清水紀暁は、メーカーの責任としてこの問題に向き合う姿勢を示した。「使用済み紙おむつを、安全で衛生的に処理し、燃料として再利用できる仕組みをご理解いただけたいと思います」

その仕組みとは、スーパー・フェイズの木村幸弘社長が開発したSFDシステム。「リサイクルは21世紀の人間の生き方の基本」という中山勝矢氏（広島工業大学名誉教授）の主張を実現する紙おむつ燃料化装置だ。紙おむつゴミの急増は、焼却処理を行う自治体の大きな負担となっている。

2011年、自治体として初めてSFDシステムを導入。町営温泉の熱

介護業界の現在

◎シンポジウム登壇者

- | | |
|---|---|
| 
広島工業大学
中山勝矢名誉教授 | 
地域婦人連絡協議会
田中則子栃木県事務局長 |
| 
伯耆町
森安保町長 | 
経済産業省産業技術
環境局リサイクル推進課
酒井崇行課長補佐 |
| 
社会福祉法人 勇樹会
中野勇理事長 | 
株式会社スーパー・フェイズ
木村幸弘社長 |
| 
北清ふらの株式会社
中野勉社長 | 
王子ネピア株式会社
清水紀暁社長 |

SFDシステムとは 使用済み紙おむつを破碎、発酵、殺菌処理して安全で燃えやすいフラフ(綿状)にするシステム。さらに成形機でペレット化すれば、バイオマス燃料として使える。



登壇者が一人ずつ講演した後は、参加者の質問を受けながらパネルディスカッションが行われた

源に活用する鳥取県伯耆町、森安保町長によれば、「新たに焼却炉を作るよりはるかに経済的で、環境にも良いので、今後はさまざまな助成金の活用が考えられる」といふ。

期待を集めるSFDシステム
今年秋にSFDシステム稼働をめざすが、新潟市の社会福祉法人勇樹会だ。中野勇理事長は、自らの施設で導入し、処理後の生成物を施設の熱源にする計画。そのデータをもとに自治体を動かして、新潟市全体にSFDシステムが展開される。青写真を描いている。回収事業者が自治体と協働するケースもある。北清ふらののSFDシステムに注目、現在でもトップクラスのごみリサイクル率を誇る北海道富良野市からの、受託事業者として試験導入に携わる。中野勉社長によれば、紙おむつや生理用品、ペットシートなどもSFDで処理し、市による燃料化も成功して、着々と実績を積み上げている。

応援団も現れている。栃木県地域婦人団体連絡協議会である。「ただのゴミから地球を救う燃料へ」というSFDシステムの素晴らしさに共感した同会の田中則子事務局長は、約450万人が読む全国地域婦人団体連絡協議会の機関誌にシステムを紹介。今後は「住民運動として行政に働きかけていきたい」と話す。前出の森安町長は、次のように問題提起する。「自治体の実際の処理費用から考えれば、事業所から出る使用済み紙おむつは、今後産業廃棄物で」という議論が必ず浮上ってきます。こうしたシンポジウムを通じて、メーカー、施設、回収事業者、自治体みんなが知恵を出しあえればいいですね」

経済産業省技術環境局リサイクル推進課、酒井崇行課長補佐はこう話す。「厳しい地方財政の中で処理コストのからない方法が模索されるだろう。地域密着の取り組みを省としてどうすれば効果的に支援できるか考えたい」(文・西所正道)

紙おむつはリサイクルの時代へ！

「紙おむつ資源化のシンポジウム」開催

注目のトピックス

チョコレートに認知症予防の可能性
チョコレートに含まれるカカオポリフェノールが「BDNF」を増加させることが愛知県蒲郡市、愛知学院大学、明治が共同で行った共同研究によって確認された。「BDNF」はアルツハイマー型認知症などの精神疾患予防に効果が期待される脳由来神経栄養因子だ。
2015/5/20 スポーツ報知

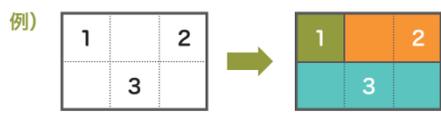
デイの宿泊にガイドライン 厚生労働省
厚生労働省は4月30日、介護保険の通所介護で自費契約による「お泊まりデイサービス」の運営に関するガイドラインを通知した。今後は宿泊が1人だけ、1泊だけでも届け出が必要になる。
2015/5/14 シルバー新報

脳のアンチエイジング

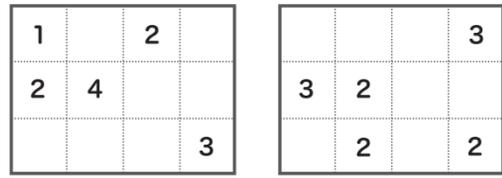
出題=公共財団法人 日本数学検定協会

四角形に分けよう

問題 1は□が1個分、2は2個分、3は3個分の四角形になるように分けます。下の2問を、例題のように四角形に分けてください。



脳を使ってチャレンジしてみましょう！



高齢者住宅で働くみなさん。風通しの良い玄関ロビーで。

「坂の町」として知られる広島県尾道市は、山肌を縫うように立っている家が多く、高齢になると一人では暮らせなくなり、そんな方々に終の棲家

と介護サービスを提供しているのが、上西あけぼのグループです。尾道市の山側、御調町に住宅型介護付の2タイプの有料老人ホームのほか、サービス付高齢者住宅を運営し、訪問介護やデイサービスなども提供しています。

最後の最後まで面倒をみる気持ちで「創業者の上西登志江会長は病院で長く福祉関係の相談に携わり、介護施設の入所要件を満たさなくて困っている方をたくさん見てきました。何とかしたいと、2005年に介護事業を始めたので」と話すのは原田幸男

こんにちは、ネピアです。職場のお話、聞かせてください。

「二日二日を元気に」が願い

サービス付高齢者住宅あけぼの(広島県尾道市)

上西あけぼのグループ総務部長 原田 幸男さん / あけぼの訪問介護事業所管理者 田川 沢子さん

過ぎたことでもあり、学ぶことも多いといま

高齢者住宅では、職員が朝、各部屋を訪問し、「変わりないですか」と安否確認をします。「フロントさ〜ん、いますか〜」との緊急通報用のナースコールには「は〜い、フロントです」と答える職員のみなさん。毎日、ケガなどいろいろなことが起こるため、「一日一日を元気に過ごしていただきたい」というのが田川さんたちの願いです。

認知症の方も多く、介護保険の枠内でのサービスだけでは、立ち行かなくなり、入居者に寄り添い、亡くなったときは通夜も行い、最後の最後まで面倒をみるというのが創業の精神です。

管理者の田川沢子さん

人とモノをつなぐ介護と福祉の実現



株式会社ジェー・シー・アイは、「杜の都 仙台」で、高い企業理念のもとに福祉事業を行ってまいります。代表取締役社長の大信田和義氏を、王子ネピアの清水紀晴が訪ねました。

大信田 当社はオーソライテッドで重度障害者雇用企業として世界に知られたセンター・インダストリーズ(CI)社の理念に深く感銘を受け、社名を「ジェー・シー・アイ」と決め、1976年に創業しました。障がいのある方や高齢者が普通に生活できるように支援する「ノーバライゼーション提供事業会社」をめざしています。

清水 身障者の雇用や雇用支援に積極的な御社は、理想に燃えて創業されたのです。

大信田 創業時はCI社精神のもとに、自立支援となるリハビリ機器・介護用品の製作・普及を目標にしました。

清水 オーダーメイドの車いすや座位保持装置ですね。

大信田 はい。一人ひとりに最適な仕様でお届けしています。介護保険制度が始まった2000年、介護保険事業部を設立、レンタル業務を始めました。福祉施設の方たちが困っていることを解決するために、様々な製品開発も行っています。

清水 この赤い車いすはオリジナルですか。カッコいいです。これなら乗りたくありませんよ。

大信田 それは東北福祉大学の教授と共同開発したものです。使用する人の体に合わせて様々な調

整ができ、使う人の気持ちや前向きにしてくれず。デザインにも凝り、オートバイのデザインなどを手がけている方にお願

大信田 はい。グッドデザイン賞を受賞しました。当社でも施設などへのレンタルを行っています。

困っている人を助ける製品を開発

清水 ほかに開発されたものがありますか。

大信田 看護師さんから薬の除包が大変だと聞いて、薬剤除包機「からやぶり」を開発しました。また、介護施設からの無断外出を検知できる支援システムや、洗濯洗剤や消臭剤も使う人の要望に応じて開発しました。お役に立てれば、働く人も笑顔になれる。困っていることがないか聞いて工夫を重ね自社開発するのが社風です。

清水 いやあ、立派です。

大信田 社会貢献しながら事業を行っているのが経営は楽ではありませんが、「社員の幸せの追求を通して社会貢献をしよう」と、人を大事にする経営を意識しています。

清水 設計や施工も手がけられていますね。

大信田 安全な住まいへのリフォームや福祉施設設計・コンサルタントをしているため、必要に迫られて始めました。

清水 次々に新しいことにチャレンジされてきたんですね。御社が参加さ

れている「仙台フィンランド健康福祉センタープロジェクト」とは、どんなものですか。

大信田 仙台市とフィンランドが共同で進める高齢者の自立支援プロジェクトです。両国の企業・大学等が連携し、健康福祉サービスや機器の開発を進めています。

清水 日本より早く高齢社会が来たフィンランドでは、予防ケアを重視し、介護施設では自宅にいるような生活環境を提供しているそうですね。

大信田 実際にフィンランドで認知症のグループホームを見てきました。当社が創業30周年を迎えたとき、自立と自尊の気持ちを大切にしているフィンランド精神に則ったグループホームをつくりました。全室にフィンランドのコーピネン社製洗面台を導入したところ、デザインも使い勝手もいいので、日本仕様にしたものを輸入販売し、ご好評をいただいています。

清水 おしゃれなデザインで、これでしたら洗面所もパッと明るくなり、使うのが楽しくなるでしょうね。今日は、社会貢献と事業活動が深く結びついている、いいお話を伺うことができました。



株式会社ジェー・シー・アイ
代表取締役社長
大信田 和義氏

「1986年に入社し、昨年9月、社長に就任しました。認知症グループホームのほか、障がいのある方の自立を支援するバリアフリーアパート2棟の管理運営などを行うグループ会社の社長も兼ねています。創業精神を忘れず、志は高くあります」



王子ネピア株式会社
代表取締役社長
清水 紀晴

「私が社長に就任してから社会貢献に力を入れてきましたので、とても参考になりました。3月に開催した『紙おむつの資源化を考えるシンポジウム』は、今も問い合わせをいただいております。今後も活動を深めたいと考えています」



テnderサポート通信 vol.2

皮膚は体の中で最大の臓器と言われており、特に表皮の角質層と皮脂膜は、体内の水分を保持し蒸発を防ぎます。また、外界からの刺激や細菌の侵入を防ぐバリア機能の働きで私たちの体を守っています。

高齢者の肌は、加齢とともに皮脂の分泌・保湿能力が低下するためドライスキン(乾燥肌)になりやすいです。ドライスキンになると、外部からの刺激を受けやすくなります。そのため発赤や湿疹などのスキントラブルを起こしやすくなります。

スキントラブルの予防は、「清潔」「保湿」「保護」が基本です。

清潔を保つためには適切な洗浄が重要です。皮膚表面の汚れを取り、菌の繁殖を抑えバリア機能を整えます。石鹸での洗浄は1日1~2回。弱酸性のものがおすすめです。よく泡立て、強くこすらずやさしく洗います。微温湯ですすいだあとは、乾いたタオルなどで押すように拭きましょう。

洗浄後は水分の蒸発を防ぐため、なるべく早めに保湿しましょう。撥水性のものは薄い膜をつくり、便による化学的刺激からお肌を守ることができます。掌で温めてか

スキントラブルとスキンケア

ら塗ると皮膚になじみやすくなります。

おむつの適切な使い方も大切です。おむつは通気性の良いものを選びましょう。王子ネピアの紙おむつは全商品、全面通気性です。安心してお使いいただけます。また、おむつの重ね使いはやめましょう。蒸れが生じバリア機能が低下します。おむつを引き抜いたり引っ張ったりすると皮膚が傷つくので気をつけましょう。

そして何より早期発見・早期対応が大切です。おむつ交換を観察のための大切な時間ととらえていただき、予防的スキンケアを心がけましょう。

■皮膚の構造

じわっと効く 牧野流 プチヨガ

「首のコリ」をほぐす

今回はPCやスマホを長時間使う人におすすめです。同じ姿勢で固まった首を、ほぐします。

A 頭倒し 後頭部から首筋にかけての中央に「盆の窪」という窪みがあります。ここを両手の人さし指と中指でそっとサポートしながら

倒す」↓「左に倒す」という動作を、ゆっくり2回行います。首を曲げようと思わずに、首の前面と横が心地よく伸びて引っ張られる感覚を味わいましょう。

ら、そこからゆっくりと頭を後ろに倒します。首を曲げるのではなく、頭蓋骨を付け根から倒すことで、首の上部をじんわり刺激します。3回行いましょう。

B 首伸ばし 胸の中心に近い位置で、両手の人さし指、中指、薬指の3本を、鎖骨に軽くひっかけます。そのまま「あごを上げる」↓「下げる」↓「頭を右に倒す」↓「左に倒す」とい

監修: 牧野修玄 (ヨガ・瞑想・ボディコンディショニング講師)

笑福亭 鶴笑師匠の ボランティア落語会

北海道岩見沢市 社会福祉法人クビド・フェア

王子ネピアでは笑福亭鶴笑師匠のボランティア落語会をご支援しています。

3月31日(火)、北海道岩見沢市の社会福祉法人クビド・フェアで、「ボランティア落語会」が開催され、札幌支店スタッフは会場設営と進行、後片づけなどをお手伝いしました。

クビド・フェアは広い敷地に特養やデイサービスセンター、障害者支援施設や診療所などを擁する複合型福祉施設です。そのため、施設のご利用者だけでなく、各所で働く職員の方たちも多く見に来られ、当初70名程度の予定をはるかに上回る約100名となりました。たくさんの方の応募の中から選ばれた開催だったので、職員の方は大変喜んでおられました。

いざ、落語が始まると、利用者の方・職員の方、皆さんの笑い声が絶えない大盛況の1時間でした。鶴笑師匠も「ものすごく喜んでいただけて、やりがいがありました。皆さんの笑顔に、元気をいただきました」と話しながら施設を後にされました。